

# 相原 あいはら まさあき

マニフェスト  
暫定版



奥州力  
全開 パワーアップ 宣言

## ① 決意

## Mind

奥州市が誕生した最初の大事な4年間、初代の奥州市長として、市民の皆様とともに全力で駆け抜けてきました。

「新生奥州市政策宣言—相原まさあきマニフェスト—」を掲げて当選した私は、まずこれを市議会の議決を得て市の総合計画(2007—2016)に位置付け、スタートを切りました。

目指すべき都市像を「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」と定め、産業・教育・福祉などの施策に強力に取り組んで参りました。

この間、市民との対話(トークデーほか)、市政懇談会、地区要望を聞く会、福祉現場等の訪問など、市民とともに歩む市政を進め、さらには、自治基本条例、市民参画条例を制定することができました。

また、市町村合併時の約束を誠実に履行することを基本とし、新市建設計画(合併建設計画)をもとに、新しい全市的な事業も加え、5区(旧5市町村)の伝統を生かしつつ、均衡ある発展に努めて参りました。

無論、すべての職員の協力を得て、マニフェスト(公約)の速やかな実現を図り、概ね達成(3年経過時の外部評価は85点)することができました。

新市スタート直後は、まさに多事多難であり、合併協議事項の実現は、多くの困難を伴いました。

しかし、そうした中であっても、市町村合併協議の際、最も大きな問題となった岩手競馬は、18年度末の廃止という危機を乗り越え、多額の返済(市から県へ)を毎年続けながらも、当面の安定軌道に乗せることができました。また、大きな累積債務を抱えた総合水沢病院については、国の支援のもとに、24億円余の不良債務を解消する道筋をつけ、再スタートさせることができました。

このように、合併直後の混乱期を安定的にまとめ、新市の基礎もようやく固まりつつあります。今こそ、この新しい土台の上に花を咲かせ、夢の実現に近づけなければなりません。

まさに、奥州力(副県都奥州市の力)を全開させ、パワーアップさせるべき時であります。

私は、この時に当たり、初代奥州市長として、新市の最初の4年で築いたこの基盤の上に立って、市総合計画10ヵ年計画と合併建設10ヵ年計画を仕上げつつ、新しい発想と感覚を加え、さらに強力に発展させる責任があると、強く思いを致しました。

合併時の想い、市域の均衡ある発展をより確実なものとし、市民の皆様との視点に立ち、市民の皆様とともに、さらなる発展を図っていかねばなりません。

ここに、合併の成果を熟成・顕在化させ、「日本をリードする、暮らしやすく、人材と活力に満ちた副県都奥州市の創造」を政策の理念として、市民の皆様との約束—新マニフェストをご提示するものであります。

この新マニフェストをもとに市民の皆様とともに、新たな気持ちで力強く歩んで参りたいと強く念願するものであります。

(この暫定版をもとに、市民の皆様のご意見を伺い、2010.1.1付けで最終版を発表致します)

## ② 政策の基本理念

## Philosophy

合併の成果を熟成・顕在化させ、日本をリードする、暮らしやすく、人材と活力に満ちた副県都奥州市を創造する

新生奥州市の誕生と、  
合併協定を遵守しながら市民の皆様とともに、  
最初の4年間で築いた安定的基盤

その基盤の上に立って、初代市長として定めた、  
市総合計画10ヵ年計画と合併建設10ヵ年計画を仕  
上げつつ、新しい発想と感覚を加え、市民の皆様  
の視点に立ってさらに強力発展させる責務

奥州力(副県都奥州市の力)全開・パワーアップ宣言  
—いよいよ市民の皆様とともに  
夢実現へ発進の時!—

5つの基本姿勢のもと、11の戦略目標・〇〇の  
政策宣言ほかからなるマニフェスト2010を明示・  
約束し、確実に展開・実施(〇〇…最終版で発表)

奥州市合併(2006.2.20)の成果を  
より熟成し、顕在化させる  
—市民とともに歩む市政・市域の均衡ある発展—

日本をリードする、暮らしやすく、  
人材と活力に満ちた副県都奥州市の創造

## ③ 政策を遂行する上での基本姿勢——Stance

### 1 市民とともに歩む市政

市民の皆様との対話を大切にし、市民の皆様様の視点と発想が行政に生かされるよう、市民の行政への参画、市民と行政との協働を進め、市民とともに歩む市政・まちづくりを推進します。

### 2 市の一体感醸成と市域の均衡ある発展、さらには合併の成果が実感できる施策展開

平成18年2月の合併後、市民憲章や市民の歌の制定、各種団体の統一、お祭りの交流など新市としての一体感が醸成されてきましたが、これを一層確固たるものにします。

また、これまで、合併建設計画等に基づいて、5区(旧5市町村)の均衡ある発展を図ってきましたが、今後ともこれを政策の柱とし、実現します。

さらには、各種の制度統一などにより、負担が増した、サービスが向上していないなどの声もあり、こうした点を踏まえ、合併の成果が実感できる市政の実現を重点方針として推進します。

### 3 積極果敢、ダイナミックにチャレンジする、成果主義の市政

奥州力を全開させ、パワーアップするため、既存の考え方にとらわれず、挑戦者の精神・改革の精神で、あらゆる課題に積極果敢に取り組めます。成果主義の考え方のもと、次々と実績を積み上げる気風で取り組みます。

### 4 清新で公平公正、かつ、透明性の高い市政

常に清新な気持ちで、しがらみのない公正公平な市政を目指し、そのためにも情報公開の徹底による透明性の高い市政を行います。

### 5 行政コストを低く抑え、それを市民サービスに振り向ける、民間経営感覚を持った市役所の実現とそれを支える職員力の醸成

より少ない経費でより多くの成果を上げるため、行政コストを削減し、それを市民サービス向上に振り向ける、民間経営感覚を持った市役所を実現します。

また、こうしたことは、1300人余の職員の資質向上によるところが大切です。研修制度を充実し、職員力を育てつつ、実現します。

## ④ 戦略目標——Strategy

### 1 都市力パワーアップ—副県都構築—戦略

合併後4年で定着しつつある副県都構想をさらに充実させるため、金ヶ崎町、平泉町との市町村合併の取組みを始め、行政機能や産業力、文化力等の集積を進めます。

### 2 強い経済・産業力パワーアップ戦略

長引く不況・低迷する経済の中ではありますが、産学官連携を基に最新の知識・技術を生かした知識集積型の都市を構築しつつ、農業力・工業力・商業力を高めます。また、民と官による大型の投資を計画的に継続して展開し、多くの企業や事業を誘致し、新規起業を誘導するなど地域経済や産業力の強化を図ります。

さらに、当市に関わる北上高地への国際リニアコライダー(大型直線加速器:数十kmの地下トンネルで、電子と陽電子を衝突させ、世界最先端の研究を行う)立地計画などのビッグプロジェクトの実現に向けて、強力に取り組めます。

### 3 子育て環境ナンバーワン戦略II

国家的課題であり、奥州市の住みよさに直結する少子化対策に重点的に取組み、結婚支援対策を始め、安心して生み育てられる環境づくりを強化し、“子育てするなら奥州市で”となるよう、前回のマニフェストをさらに強化する形で、総合対策を推進します。

### 4 若者定住環境パワーアップ戦略

地域の活力は、産業・家業に後継者がしっかりと育ち、働く場、子育て環境の場、楽しむ場が充実していることが大切です。このため、もっぱら「若者定住」の観点から、若者が百パーセント就労希望の達成ができる環境づくりを始め、総合的な計画を樹立し、強力に取り組めます。

### 5 女性力(男女共同参画力)ナンバーワン戦略

女性パワーを引き出し、育て、遺憾なく発揮させることが、地域活力の鍵とも言えます。前回のマニフェストで、市の審議会などへの女性登用率の向上を掲げ、それをシステム化することによって、県下一のアップ率を実現しました。さらに、女性力ナンバーワン戦略プランを作成し、男女共同参画事業充実とあわせて取り組めます。



衣川区:りんどう栽培農家を激励



胆沢区:仮設住宅に入居の方々(震災被災者)を見舞う



前沢区:前沢春まつりで挨拶



江刺区:梁川西沢目大名行列にて、妻美智子と



水沢区:日高日防祭での一コマ



## 6 健康都市カパワーアップ戦略

健康でなければ何事も成しえません。市民の幸せ、地域の発展は、まずもって健康づくりにかかっています。子供からお年寄りまでの健康確立プランを再構築し、行政と市民との協働による「だれもが健康なまちづくり」を先進的に推進します。

また、市立病院のみならず、市内の医療体制の充実強化を重点的に進めます。

あわせて、「人を取り巻く環境づくり」として、安全確保、生活基盤整備等の生活環境の向上策を推進します。

これらのことを合わせた内容の条例を制定して取組みます。



## 7 高齢者福祉パワーアップ戦略

年々高齢化が進む中で、地域社会を支えているのは、高齢者の方々です。高齢者の生きがいづくり、健康づくりを推進するとともに、デイサービス、グループホーム、特別養護老人ホームなどの事業を充実させ、安心して老後を迎えられ、家族の負担も軽減できる態勢を築きます。

## 8 障がい者福祉パワーアップ戦略

身体障がい、精神障がい、知的障がいの方々福祉を増進するため、障がい者自立支援の制度改善・充実を推進し、市の施策を充実させながら、障がい者の自立と社会参画を大きく前進させます。

## 9 勤労者雇用・就労環境パワーアップ戦略

長引く不況の中、勤労者の雇用環境は悪化し、多くの市民が生活の不安を抱えるに至っています。地場産業の強化、企業や事業の強力な誘致・導入を行なうなど、雇用の場を確保・拡大するとともに、就労環境の改善を促進し、離職等の場合のいわゆるセーフティネットの確立を図り、着実に進めます。

## 10 教育文化力ナンバーワン—高度教育都市構築—戦略

3偉人（高野長英・後藤新平・齋藤實）や寺子屋教育の歴史に象徴されるこの地の教育力をさらに高めるため、学力向上プラン、スポーツ向上プラン、人間力向上プランを確立するとともに、文化芸術振興条例を制定するなど、文化の薫り高い都市づくりを進めます。また、引き続き、風格のある都市を目指し、大学誘致構想を推進します。

## 11 地域自治力ナンバーワン戦略

平成20年度に制定した自治基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、地区センター（市内30地区）を中心に、地域コミュニティ計画作りとそれに沿った、元気の出る地域づくりを、他の都市の先頭を行く形で進めます。

## ⑤政策宣言

## Policy

この暫定版(2009.10.31発表)では、全体の中の一部を記載しますが、最終版(2010.1.1発表)では、さらに詳細にお示しします。

### 政策 1 ブックスタート・読書コミュニティの推進

【目標】 奥州市版のブックスタート（赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心が触れ合うひとときを持つきっかけづくり）で、赤ちゃんが絵本に出会い、絵本に親しんだ子供たちが、まちの図書館や学校図書館などで本を読む習慣を助長し、大人による読み聞かせ環境を整えるなど、読書コミュニティ作りを進め、心が健康な子供たちを育てます。

【方法】 奥州市版ブックスタート・読書コミュニティ推進委員会を立ち上げ年次計画で進めます。

【期限】 2年以内

【財源】 300千円(委員会経費)

### 政策 2 結婚支援のための出会いサポートセンターの設置

【目標】 結婚難で悩んでいる本人や家族の願いに応えるため、出会いサポートセンターを設置して、強力に結婚支援策を推進します。

【方法】 結婚支援のための出会いサポートセンターを設置（茨城県の例では2年間で150組成立）するとともに、結婚支援サポーター（ボランティア）を配置し、毎年、結婚成立件数目標を立てながら実施します。

【期限】 2年以内

【財源】 3,000千円(事務費、相談員経費及びサポーター活動補助)

### 政策 3 特別養護老人ホームなど待機者ゼロ計画の策定と推進

【目標】 特別養護老人ホームなどの待機者とその家族の苦労を解消するため、待機者ゼロを目指します。

【方法】 特別養護老人ホームなど待機者ゼロ計画を策定し、推進します。

【期限】 1年以内(計画策定)

【財源】 250千円(調査検討・計画策定経費)



19年11月、第2回マニフェスト大賞の授賞式に出席



# PROFILE

## 【あいほらまさあき略歴】

昭和23年3月1日	江刺区愛宕字橋本に相原正毅(江刺区愛宕出身)・ミツ(胆沢区若柳出身)の二男として生まれる	
同35年4月	江刺市立愛宕小学校を卒業し愛宕中学校入学	
同36年4月	中学2年時に盛岡市立上田中学校に転校	
同41年3月	県立盛岡第一高等学校卒業	
同45年3月	東北大学法学部卒業	
同年4月	岩手県職員採用	22歳
平成4年4月	滝沢村助役(盛岡市西隣の人口約4万人の村助役として3年この間村長死去に伴い、村長職務代理者経験)	44歳
同7年4月	企画調整部資源エネルギー課長	47歳
同9年4月	農政部農業経済課長	49歳
同10年4月	教育委員会教育次長	50歳
同11年4月	農政部長	51歳
同年10月	企画振興部次長	51歳
同13年4月	地域振興部次長兼地域企画室長	53歳
同14年4月	企業局長	54歳
同年10月5日	退職	
同15年3月13日	江刺市長就任(1期目)	55歳
同15年度から	「未来の都市を創る市長の会」座長	
同18年2月20日	奥州市合併により、江刺市長失職	
同18年3月19日	初代の奥州市長に就任(1期目)	58歳
同19年11月9日	第2回マニフェスト大賞首長部門審査委員会特別賞受賞	



孫2人とパチリ

現住所：〒023-1131 奥州市江刺区愛宕字橋本119番地  
 Tel&Fax：0197-35-2134  
 E-mail：ma230301@pon.waiwai-net.ne.jp  
 ホームページ：http://www.pon.waiwai-net.ne.jp/~ma230301/

- 家族構成—父母、妻、長男夫婦・孫(熊本県大津町)、二男(盛岡市)
- 趣味——囲碁(五段)、俳句(樹氷同人)、ゴルフ(ハンディ27?)

## 相原まさあき後援会事務所

〒023-0003 水沢区佐倉河字後樋78 Tel&Fax：0197-22-5385  
 〒023-1111 江刺区大通り5番5号 Tel&Fax：0197-35-8761  
 (前沢区・胆沢区・衣川区にも後援会事務所を設置予定)